

ポジティブリスト制度施行で

スーパーマーケットがすべきこと

社団法人 日本セルフ・サービス協会
客員研究員 山口廣治

<はじめに>

社団法人日本セルフ・サービス協会は、食品の流通・販売に従事するスーパーマーケット（正会員）と食品メーカー及びその他食品関連業者（賛助会員）で構成する協会です。本年3月10日現在で、正会員225社、賛助会員475社の計700社が加盟しています。

<主な活動内容>

協会の活動には、スーパーマーケットと食品メーカーとが相互の交流を深めることで、業界の発展を目指し、正しい食文化の担い手として社会に貢献していくために、会員向けのセミナーの開催、検定制度の導入、ふるさと食品の活性化等、様々な活動を行っています。

そのような中、「ポジティブリスト制度」についても従来通り、法制度を遵守することを基本として、積極的な導入を行っています。

<ポジティブリスト制度の普及について>

肝心なことは、「ポジティブリスト制度」をきちんと理解することと思われます。商品ごとの取り引き内容に添って、商品情報を整理し、生産確認することが重要ということから「トレーサビリティ」を基本に取り組んでいます。

その為に行っている事は、

1) 事業者対象の勉強会の開催

- ①ポジティブリスト制度の仕組み
- ②食品衛生法違反の問題点の整理
- ③分析について 等

2) 制度をスムーズに導入・運営するための専門チームの組織化

- ①事業者内部スタッフのチーム
- ②取引先との合同チーム
- ③その他

3) 品目別生産履歴情報のデータ化の導入

- ①農産物
- ②水産物
- ③畜産物
- ④加工食品
- ⑤輸入食品

4) 農薬を学ぶ勉強会の開催

- ①農薬の定義
- ②農薬の成分
- ③農薬の分類
- ④農薬の使用目的
- ⑤農薬の毒性 等について

<個別対応について>

個別管理のためのデータ化の推進

1) カテゴリー別

(1) 生鮮食品

- ①農産物
- ②畜産物
- ③水産物
- ④加工食品
- ⑤輸入食品

(2) 加工食品

- ①国産品
- ②輸入品

2) 仕入れ別

(1) P B 商品

- ①自社製造
- ②メーカー製造

(2) N B 商品

- ①メーカー製造
- ②他社メーカー製造

(3) 輸入経路別

- ①自社輸入
- ②専門商社輸入

以上